

私たちは、アフリカやアジアや日本で、人びとの暮らしや生業、つながり、<sup>なりわい</sup>思っていること、昔々のこと、これから起こるかも知れないことなどを、周辺の自然や建物や雰囲気などとともに調べることを仕事にしています。

その際には、意図的あるいは何気なく、数多くの写真を撮ります。この写真集は、一緒に研究してきた仲間たちが、それぞれの思い出がある写真を持ち寄ってつくられました。

気ままに持ち寄った写真ですので、それぞれのつながりは見えにくいですが、一つだけ共通するものがあります。それは、出会いです。私たちは、あちこちの村や街、畑や森や水辺を歩き、その風景、土や水、風、音、匂い、雰囲気とともに、人びとや暮らしの表情に出会います。

それぞれの写真に、タイトルと短いキャプションを付けました。すべてを表現できてはいませんが、それでも、研究者と呼ばれる何やら謎めいた仕事をしている私たちが、どのような気持ちや眼差しで、人びとと暮らしの風景に出会い接しているのかを感じ取ってもらえれば幸いです。

そして写真を撮る私たちに向けられる人びと—時には動物たち—の眼差しが暖かく優しいことに気が付きます。

この写真集を手にとったあなたは、私たちと出会います。  
撮った写真には、私たちの心象風景が重ねられているためです。

はじめまして、そして、ようこそ。

写真集に目を通した皆さんと、いつかどこかのフィールドで再び出会えたら嬉しいです。